

【消化器内科にて把持型高周波処置具 DP2618DT (商品名クラッチカッター) 用いた内視鏡手術を受けた患者さんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

把持型高周波処置具 DP2618DT (商品名クラッチカッター)*¹の臨床研究

*1 把持型高周波処置具 DP2618DT (商品名クラッチカッター)とは患者の身体的負担が少ない治療法である内視鏡手術用処置具として、組織の切開から止血まで1本で対応できるディスポーザブル高周波はさみ鉗子です。

【研究背景・目的】

把持型高周波処置具 DP2618DT (商品名クラッチカッター)を用いた内視鏡手術を受けられた患者さんの診療成績を分析し、今後の診療成績向上を目指します。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、2019年6月18日から2029年3月31日までです。
- ・対象：2007年6月13日から2028年3月31日に本手術を受けた患者さん
- ・取得情報：年齢、性別、病理組織所見、画像所見、内視鏡検査所見、治療成績、偶発症、在院日数、入院医療費、診察所見

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を

求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・ 診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 消化器内科 赤星 和也

研究分担者：久保川賢、宜保淳也、淀江賢太郎、國木康久、小副川敬、長田繁樹、
稲村和紀、野崎哲史、安倍俊行、木村勇祐、佐藤諒、芥川宗樹、梅北慎也、丸岡
諒平、吉本貴則、菅原大輔、鶴田佳雅、福谷洋樹、濱崎慎平、内山学、坂井佳世、
白土由紀

【問い合わせ先】

飯塚病院 消化器内科 赤星 和也

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL：0948-22-3800（代表）